

## 共生型地域福祉拠点推進事業

# 倶知安地区事業所

「明るく、楽しく、元気よく」～感謝の思いを持って～



社会福祉法人黒松内つくし園

— 倶知安地区 —

# 黒松内つくし園 倫理綱領

2013.4.1

私たち役職員一同は、創立の理念を実現し、民間社会福祉事業の発展に努めます。

## 第1条 利用者主体

私たちは、自由と平等の精神に則り、利用者主体のサービスを提供します。

## 第2条 自立支援

私たちは、利用者の自立支援を目的とし、常に利用者の幸せのために努力します。

## 第3条 専門性

私たちは、利用者の生命（いのち）と生活（くらし）を守るため、専門的な知識・技術の習得に努めます。

## 第4条 社会貢献

私たちは、地域住民の一員として、新しいニーズに対応し、社会に貢献します。

# 本日の事例紹介概要

- 法人のあゆみと事業の説明
- 倶知安地区施設事業の紹介
- 共生型地域福祉事業の紹介
- 質疑応答、終了





# ゆみ(あらまし)

➔ 私財を投じて

児童養護施設  
黒松内つくし園の創設

拠点、黒松内・京極  
倶知安・泊で展開  
定款記載事業数...

➔ 施設・事業  
総数54



# 倶知安地区事業(就労系事業拠点区分)

- 1 羊蹄セルフ 定員40名(多機能型就労支援)  
※就労移行支援事業 20名、就労継続支援B型事業 20名
- 2 福祉ホーム羊蹄 定員10名  
※単身向け住居 6室、夫婦世帯向け住居 2室
- 3 人と人をつなぐ 陽だまり 定員20名(多機能型支援)  
※就労継続支援B型事業 14名、自立訓練(生活訓練) 6名
- 4 ありか 定員20名  
※就労継続支援B型事業
- 5 つくしホーム 定員20名 共同生活援助事業  
※グループホーム かぜ・そら・ほし 各定員5名(男性)  
※グループホーム ゆめ 定員5名(女性)
- 6 社会福祉生活支援ハウス 和-なごみ- 6室 (法外事業)  
※複合福祉施設 4室、つくしホーム(かぜ・そら) 各1室(老人)



# 倶知安地区事業(在宅介護系拠点区分)

- 1 グループホーム 絆 定員9名  
※認知症対応型共同生活介護事業(予防・介護)
- 2 グループホーム 縁 定員9名  
※認知症対応型共同生活介護事業(予防・介護)
- 3 倶知安訪問・居宅介護ステーション つくしんぼ  
※訪問介護事業(予防・訪問介護)  
※居宅介護事業(障害福祉サービス)  
※移動支援事業(地域生活支援)
- 4 つくしんぼケアプランセンター  
※居宅介護支援事業



# 倶知安地区事業

## 事業所数

- \* 障がい福祉 5
- \* 介護福祉 4
- \* 法外事業 1



## 職員数

総数58名  
(うちP23名)  
平成28年11月1日現在



ついでに  
ついでに  
ついでに

ついでに

# 多機能型支援事業 人と人をつなぐ陽だまり

## 自立訓練(生活訓練) 定員6名

自立した生活を送るために必要な訓練を提供する。

## 就労継続支援(B型) 定員14名

作業を通して充実感や達成感を味わって頂く。本人のニーズに合わせた作業を提供し、更なるスキルアップを図れるよう支援を行っていく。



# 多機能型支援事業 人と人をつなぐ陽だまり

## 就労継続支援(B型)

### 主な作業内容

- ・喫茶作業
- ・清掃作業
- ・行事販売
- ・季節作業(畑など)



# 多機能型支援事業 人と人をつなぐ陽だまり

## 就労継続支援(B型)

### 主な作業内容

- ・喫茶作業
- ・清掃作業
- ・行事販売
- ・季節作業(畑など)



# 多機能型支援事業 人と人をつなぐ陽だまり

喫茶陽だまりの情報は  
『倶知安陽だまり』で検索！（食べログ）





# あ り か

就労継続支援(B型)20名

・障がい者、高齢者ともに生きがいを感じて頂く事業。

主な作業

・清掃作業 ・調理作業など



# あ り か

就労継続支援(B型)20名



# グループホーム かぜ・そら・ゆめ・ほし

障がい者を対象としたグループホームとして町内4か所にて実施。グループホームから通所事業所や企業への就労支援のほか、余暇活動等や生活改善等の支援も行う。





ついでに  
ついでに  
ついでに

ついでに

# 高齢者グループホーム絆・縁



# 高齢者グループホーム絆・縁

一人ひとりの思い、一つ一つの思いを大切にし、あなたらしい生活の実現を共に目指します

## ケア理念

- ・私たちは、あなたが歩んできたこれまでを受け入れます。
- ・私たちは、自宅に代わる「もう一つの家」を目指します。
- ・私たちはあなたを取り巻く環境の一部です。笑顔と優しさを絶やさず、安心した生活を送って頂けるよう、日々努力します。

# 高齢者グループホーム絆・縁



# 高齢者グループホーム絆・縁



# ヘルパーステーションつくしんぼ

年齢や障がいに関係なく自分の望む環境で(住み慣れた家・家族・なじみの友人など)安心した自立した生活を送れるように、みなさんの気持ちを大切に、ゆとりと笑顔のある暮らしのお手伝いをしたいと考えています。



# ヘルパーステーションつくしんぼ



# つくしんぼケアプランセンター

お年寄りとご家族に寄り添い、どんな生活を送りたいかを大切に、一人一人の思いを叶えた生活が送られるよう事業所や医療機関等と連携調整し、支援しています。



平成28年度

# 倶知安地区 基本方針

「明るく、楽しく、元気よく」～感謝の思いを持って～



社会福祉法人黒松内つくし園  
— 倶知安地区 —

# 平成28年度 事業計画

## 事業方針

「明るく、楽しく、元気よく」～感謝の思いを持って～をスローガンに、健全運営に向け事業の見直し、人材育成と確保、職員相互の協力とサポート体制の構築、すべての人に感謝の思いを持ち、業務にあたります。



# 平成28年度 事業計画

## 重点目標

- 1 明るく:将来の事や今後への不安を無くし、明るく安心して毎日が送られる支援の提供をする。
- 2 楽しく:楽しさは、自己欲求が満たされた時の感情表現であることから、誰にも満足していただける支援を目指す。
- 3 元気よく:身体状態の把握や機能維持の支援だけでなく、心身共に充実し、「利用して良かった」と毎日を過ごして頂ける支援・組織をつくる。



ついでに  
ついでに  
ついでに

ついでに

# 複合福祉施設つくしんぼ

○住所 虻田郡倶知安町南3条西1丁目17番地1

○規模 鉄筋コンクリート造り 3階建

○事業

- ・訪問・居宅介護ステーション「つくしんぼ」
- ・居宅介護支援事業所「つくしんぼケアプランセンター」
- ・認知症対応型共同生活会議事業(グループホーム)  
「絆(きずな)」「縁(ゆかり)」 定員各 9名
- ・障害者就労支援施設「人と人をつなぐ 陽だまり」  
就労継続支援B型事業14名 生活訓練6名
- ・社会福祉生活支援ハウス「和(なごみ)」 4名



## 複合福祉施設つくしんぼ

人口の減少や核家族化の進展、地域の連帯感やふれあいの希薄化、多様化する地域の課題を自らの問題として捉え、福祉の観点から本町における地域課題の解消に向け、力を注ぐ事を目的に、高齢者・障がい者・子どもたちが交流を深め、地域が一体となり支え合える共生型施設として事業を開始しました。

事業開始日 : 平成21年3月31日



## 複合福祉施設つくしんぼ

地域住民が自主的に参加し、その総意と協力により、住みよい地域社会の構築を図ります。共通の目的として、日常生活のふれあいや共同活動・共通経験を通して、お互いの連帯感や共働意識を築きながら、自分たちが住んでいる地域を住みよい町にする基盤となりうる、中心的役割を担う場所（施設）と捉え、地域コミュニティ造りに努めています。









# 複合福祉施設つくしんぼ

## 1. 高齢者の生活環境の整備

倶知安町における高齢化の進行に伴い、認知症のため家庭で生活することが困難なケースが多くなっているため、お年寄りの尊厳を尊重し、落ち着いた生活が送られるよう、出来る限り家庭に近い雰囲気の中で、地域に開かれ安心した日々を過ごしていただけるよう、2階・3階に認知症対応型共同生活介護事業を運営し支援にあたっています。









くっちゃん

しがたがた



# 複合福祉施設つくしんぼ

## 2. 地域交流センターの整備

地域交流センター(1階)は、施設を利用している高齢者・障がい者と地域の子供たちや一般住民との交流の場となっています。障害者就労支援事業としてサロン(軽食・喫茶店)を運営しています。多目的広場にはキッズルーム、ミニ図書館、学習スペースを整備し、交流の場・ネット学習の環境を整え、子供の健全育成・啓発と、学童保育的な要素も含めた見守りの場であり、地域住民の活動の場として活用されています。





# お茶 陽だまり



# り まり

200円

¥500





## 複合福祉施設つくしんぼ

### 3. 障がい者・高齢者への生活環境の支援活動

障がい者や高齢者の生活の不安要素解消に向けた、当法人独自の事業として、社会福祉生活支援ハウス和(なごみ)を運営しています。事業開始当初は、主に精神障害者の退院促進を図るための在宅復帰訓練や知的障害者の在宅移行訓練などとして活用され、現在は福祉的な緊急一時利用施設的な生活施設としての活用となっています。



## 複合福祉施設つくしんぼ

普通の生活がしたい、アパートで暮らしたい、話し相手がほしい、仕事をみつけたい、自分の力で生きたい、といったニーズに応え、生きる活力を引き出し、自分らしい人生・生活に向かい進むためのサポートを行っています。そして、利用者の皆さんがその中心であり、地域を成すコミュニティの一員であることを常に心に留め、専門的な知識を生かし、他機関との連携により、多様な支援を提供していきます。



## 複合福祉施設つくしんぼ

○絆・縁の利用者と家族・知人が喫茶事業を利用し、施設外の雰囲気の中で楽しく会話できる。

○キッズルームを利用し子ども連れの親子が気兼ねなく過ごせる。加えて、お年寄りが嬉しそうに遊ぶ光景をみたり、声を掛けての交流が生まれている。

○福祉事業者の各種会議の場所として利用されており、陽だまり利用者の皆さんとの会話・ふれあいが働く意欲と、情緒の安定につながっている。



## 複合福祉施設つくしんぼ

○地域住民のみなさんが、ゆっくり本を読み、気兼ね無く過ごせる憩いの場所となっており、それが働く利用者さんとの交流を生んでいる。

○小学生・中学生・高校生が下校後に友達同士で安心して過ごせる場所になっている。

○時には、乳児から子ども・学生・地域の方々・お年寄りが同じ空間で過ごすことが、当たり前前の光景になっている。











# 住まいと働く場を (平成23年10月1日開始)

I . 高齢者と障がい者の共生型住まいをとおした  
地域活性化事業

⇒ 住まいの整備

II . 職を通じたソーシャルインクルージョン実現の  
ための地域活性化事業

⇒ 働く場の整備



# つくしホーム(かぜ・そら)

## 事業紹介

障害者共同生活援助事業に高齢者住居を併設し、共に支え合って生活する空間となっています。

地域生活への考えが乏しい障がいのある利用者への道しるべや世代間交流になっています。

また、高齢に伴う機能低下や障がいによる不便さを、互いに補い合い自立生活が送られています。



## つくしホーム(かぜ・そら)

○お年寄りは、共同生活援助事業を利用している方々の、良き相談相手となっています。

○共同生活するうえでの約束事や、みんなの仲介役になっています。

○お年寄りに出来ない物品の移動や運搬を、手助けしています。

○同じテレビ番組を見て談笑したり、焼肉会を自ら計画し実施しています。





# 障害者就労支援B型事業所 ありか

## 事業紹介

生きる上で欠くことのできない“食”をツールとして、地域の恵み、資源を活用して地域福祉を推進する。

具体的には、隣町で30年あまり愛された「もつ鍋」店の技術を引き継ぎ、就労訓練を行う障がい者と、経験豊かな高齢者の能力を活かし、「共に働く場」として、障がい者や高齢者、世代を超えた地域住民が、交流・協働する環境を整える。



# もつ鍋 うたり

就労継続支援(B型)20名



## 障害者就労支援B型事業所 ありか

○もつ鍋店として夜間の営業と、店舗清掃や事前準備、軽作業により事業を展開してきたが、運営上の不具合から、平成28年9月にて店舗営業を終了しました。

○「生きるよろこび うたり」から「ありか」に名前も変更し、新たな展開を始める。地元の特産物を使用した加工食品等、地元の高校や企業との連携による新製品の開発を進めたい。



## 障害者就労支援B型事業所 ありか

### ○新たな展開

食をツールに、障がい者の就労事業とお年寄りの生きがいの場・働く場としての場（自分の居場所＝ありか）となるよう進めます。

### ○目指す方向性

障がい者・お年寄りの、生きがいの場・働く場として、そこに集う人たちが、主体的に事業を企画し実践できる事業にしたい。（地域貢献事業への転換も視野に）



# 共生型事業とコミュニティ

## ○共生型地域福祉拠点

高齢者・障がい者・子どもが、地域住民と共に集い、支援を必要とする者等がお互いに支え、支えられながら安心して地域生活を送られるところです。

## ○コミュニティ

コミュニティは様々な人により形成され、多くの人たちが安全で住みよい場所を求めています。



# 共生型事業とコミュニティ

## ○町づくり

すべての人々が、自分なりの様々な考えを持ち、生活しています。隣人との町内会や自治会、関係機関や行政が絡まって生活が成り立っています。

そこに住む人たちが、何を求めているかに差異があります。それが地域性であり、求められる事の組み合わせにより豊かな気持ちで生活できる地域を創るのが共生だと思います。



# 共生型地域福祉拠点推進事業

## ○福祉拠点

子ども・障がい者・老人など制度にある福祉に留まらず、地域に住む人々の福祉的課題を解決し、安全で支え合える支援体系と、地域性を活かした町づくりのを支えるのが、共生型事業だと思います。

より多くの人に関わることで、更に機能は充実し、独自の地域福祉機能は、笑顔があふれ互いを敬い、支え合い生きる中心となります。



ありがとう  
ございました。  
終了

